

<b>第5学年 工作</b>	<b>題材名 切り分けた形があんなものに！？</b>		
<b>【授業会場】</b> 5年〇組教室	<b>【時 間】</b> 第〇校時	<b>【児 童】</b> 5年〇組	
<b>【指導者】</b> 〇〇 〇〇	<b>【授業協議会・分科会会場】</b> (5年〇組・3年〇組教室)		

## 1 題材について

### ○題材観

本題材は、小学校学習指導要領図画工作第5学年及び6学年の内容A表現(1)イと(2)イ及び、B鑑賞(1)ア、〔共通事項〕(1)ア、イを受けて設定した。

この題材は、電動糸のこぎりを用いて板材を切り分け、材料の特徴を生かして遊ぶものをつくり出す題材である。偶然できた板の形の特徴をもとに発想を広げ、板の形を様々なものに見立て、用途を考えながら活動することで、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うことのできる題材である。

### ○児童観

本学級の児童は「図画工作科の授業は好きか。」という質問に、全ての児童が肯定的な回答をしており、図画工作科の学習に対して前向きである。しかし、発想に対して苦手意識があり、自信をもって活動に取り組めない児童もいる。

「知識」に関しては、第4学年までの図画工作科の学習で、のこぎりを使って木を思いのままに切ったり、釘や接着用具を使って組み合わせたりする活動を通して、組み合わせた形の感じについて理解してきている。

「技能」に関しては、これまでののこぎりを使って板をまっすぐに切り分けるなど、のこぎりの安全な扱い方を身に付けている。電動糸のこぎりを使って板を切り分ける活動は今回が初めての経験である。また、木材に色を塗る経験は少ないが、水彩絵の具を使って、色を重ねて塗ったり、混ぜたり、にじませたり、ぼかしたりしていろいろな形や色をつくる経験を重ねてきている。

「発想・構想【思・判・表】」に関しては、自分の表したい形や色から、材料を選んだり、表現したりすることはできる児童がいる。一方で、表したいことを見付けることについては苦手意識をもっている児童もいる。

「鑑賞【思・判・表】」に関しては、友達の活動や作品を見て、素直に良いところを認め、言葉で良さを表現することができる児童が多い。また、その良さを自分の作品に取り入れ、次の活動につなげていこうとする児童もいる。しかし、造形的な視点を取り入れて、感じ取ったり考えたりしたことを伝えることができる児童は少ない。

### ○指導観

指導に当たっては、切り分けた板の形や、その特徴をもとに発想しながら、偶然できた板の形を様々なものに見立てる活動を通して、見方や感じ方を深め、豊かに発想を膨らませることができるようになりたい。

「知識」の指導に関しては、形を見立てたことからパズルをつくる活動を通して、色や形のバランスについて理解できるようにしたい。

「技能」に関しては、電動糸のこぎりを安全に扱えるように指導する。また、第一次では、思った形に切ることができるよう板材を十分に用意し、切り方を試す時間を設ける。その際に、直線だけでなく、くねくね線、ギザギザ線、C線、S線、L線などの切り方を示す。切る練習を通して、板材の特徴や切り方の感覚を掴み、本時で活用する板に描いたいろいろな線で8～10ピースに切り分けられるようにしたい。第二次では、着色の仕方を選ぶことができるように画材を準備したり、板に着色する際、自分の思いに合う色であるか試すことができるよう端材を用意したりし、自分の表現に生かすことができるようにする。のこぎりで切った板材と電動糸のこぎりで切った板材を比較し、切り方の違いやそれぞれの良さに気付かせたい。

「発想・構想【思・判・表】」の指導に関しては、まずは、教師が切り分けた板材の1枚を示し、学級全体で、その特徴から様々なものに見立てる活動の時間を設け、1枚の板からイメージを広げる一助とする。そして、友達と互いにアドバイスをし合えるように班で活動させる。これらを通して、

自分の切り分けた板材の形の特徴をもとに何に見えるか考え、表したいことのイメージを広げ、自信をもって活動に取り組むことに繋げたい。

「鑑賞【思・判・表】」の指導に関しては、自分のつくったパズルの中から一つを選び、自分が板の形を何に見えるたのかについてクイズ形式で紹介する「1 (ワン) ピースクイズ」の活動を取り入れたい。この活動で、表現の意図や特徴を伝えたり、友達の作品のよさを感じたりして、自分の見方や感じ方を深める力へと繋げる。

## 2 題材の目標

### (1) 知識及び技能

- 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。
- 電動糸のこぎりを適切に扱い、様々な形で板材を切り分け、表したいことに合わせて、動きやバランス、色の鮮やかさを考えながら着色する。

### (2) 思考力、判断力、表現力等

- 形や色などの造形的な特徴を基に、形や色、材料の特徴、線の美しさなどの感じを考えながら、どのように表現するかについて考える。
- 自分たちの作品の造形的な面白さや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。

### (3) 学びに向かう力・人間性等

- 主体的に板材を使ってみんなで楽しく遊ぶものをつくったり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

## 3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>板材を使って、みんなで楽しく遊ぶものを作る時の感覚や行為を通して、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。</li> <li>表現方法に応じて電動糸のこぎり、板材を活用するとともに、全学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして表し方を工夫して表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>板を切り分けるなどして感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながらどのように主題を表すかについて考えている。</li> <li>作った作品で遊ぶことを通して、作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に板材を使って、楽しく遊ぶものをつくったり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>

## 4 指導と評価の計画 (全7時間)

時間	めあて 学習活動	評価の観点、評価方法等			
		知	技	思	態
		知識	技能	発想や構想 鑑賞	
1	「電の子」(電動糸のこぎりを上手に使う子)になろう				
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>のこぎりと電動糸のこぎりで切った形の特徴を比較する。</li> <li>電動糸のこぎりを安全に使い、切り方</li> </ul>	○	○		

3	を試す。 ・電動糸のこぎりを安全に使い、自由に切り分ける。					
4 本時	できた形を身の回りのものに見立てて、絵をかこう ・表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、線の美しさなどの感じを考えながら、絵をかく。			◎ 観察 対話 作品 ワークシート	○	↓ ◎ 観察 対話 作品 ワークシート
5		◎ 観察 対話 作品 ワークシート	◎ 観察 対話 作品 ワークシート			
6						
7	作ったパズルを紹介しあおう ～1（ワン）ピースクイズ～ ・自分達の作品を紹介し合い、感じ取ったり考えたりしたことを伝え合う。			◎ 観察 対話 作品 ワークシート		

○・・・題材の評価規準に照らして、適宜、児童の学習状況を把握し指導に生かす。

◎・・・題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を記録に残す。

#### 5 本時の目標

表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、線の美しさなどの感じを考えながら、表現することができる。

#### 6 準備物

切り分けた板、水彩絵の具、カラーペン、端材、タブレット

#### 7 本時の学習展開（4時間目/全7時間）

学習活動	◇指導の工夫 ◆努力を要すると判断される児童への手立て	評価規準（評価の方法）
1 前時の学習を振り返る。 ・切り方を確認する。	◇「めあて」の掲示物を活用し、切り方を想起させる。	
2 学習の見通しをもち、めあてを確認する。 ・形を見立てる。	◇パズル状に切り分けている「めあて」を組み合わせながら提示することで、学習意欲を高める。	
<b>切った形の特徴からいろいろなものに見立て、ピースに絵をかこう！</b>		
3 切り分けた板材のうちから1枚を選び、見立て、絵をかく。 ・見立て方の確認をする。 ・タブレットで組み立てた状態の写真を確認する。	◇活動の見通しをもつために、模範作品の1ピースを使って、木の形の特徴から思い浮かぶ物とその理由を発表し、ものを見立て方を確認する。 ◇パズルの完成をイメージしやすくするために、ピースを合わせた状態の写真をタブレットで確認し、活動させる。 ◆いつでも友達にアドバイスをもらえるように班で活動させる。	<b>発想や構想</b> 表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、線の美しさから、表したいことを考え、表現することができる。 (観察・対話・作品・ワークシート) ◎

<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットで本時の学びを記録する。</li> <li>・作品を学級全体で共有する。</li> </ul>	<p>◇全体で、形の特徴やよさをどのように生かしたのか紹介することで、発想が広がるようにする。</p>	
<p>〈学びが深まった姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くねくねの部分がへびの体に見えたから、へびの絵をかきました。</li> <li>・ほかの木の板が魚や海藻の形に見えるから、海をテーマにしたパズルをつくりたいです。</li> </ul>		

### 8 板書計画

題材名	めあて	切った形の特徴からいろいろなものに見立て、ピースに絵をかこう！	
<p style="text-align: center;">〈切り方〉</p> <p>くねくね線 ギザギザ線 C線 S線 L線</p>	パズルA	パズルB	<p style="text-align: center;">活動の流れ</p> <p>①見立てるピースを決める。</p> <p>②絵をかく。</p> <p>③ふりかえりをする。</p>
	パズルC		

### 9 場の設定

黒板		
配膳台 (カラーペン, 端材)	教卓	
机は班机で行う。		